



ビーンズふくしま 第19回定期総会開催

まさか今年度もオンライン総会になるとは思ってはいませんでした。なかなか終息に向かわない新型コロナウイルス感染症の状況下に、今年度もビーンズふくしまの総会は、令和3年6月20日(日)10時～12時にオンラインで開催となりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策とし各事業オンラインを導入し、事業を運営してまいりました。対面することが難しい中でも、zoom等を活用しながら子ども・若者が集えるよう工夫するなど、つながりを大切にしながら事業を継続してきたことや、オンラインを使うことで福島と郡山の事業間での会議の合理化が図れたことなどが報告されました。

令和3年度は、利用される方々への支援向上のため、法人内での連携はもちろんのこと、加えて関係機関との

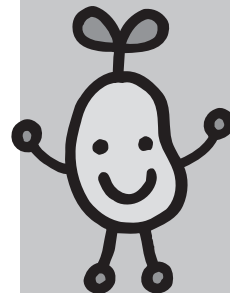
連携を強化し支援内容の充実化を図ることや事業を再編成し社会課題解決に一層取り組んでいくことを報告しました(再編成に関しては裏面をご参照ください)。

また、これからの法人の方針を考える時期に達したことから中長期計画の策定や、スタッフがよりよく働きやすくなるようマネジメント体制の整備ならびに規定改正に向けた計画を報告し、書面表決を含め承認をいただきました。



ビーンズ 通信

vol.104
夏号



●発行日 / 2021年9月10日

●発行元

特定非営利活動法人

ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5

TEL&FAX 024-563-6255

URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心して居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

新理事体制となります

今回、新たに3名の理事が就任し、6名の理事体制で1年間活動していくこととなりました。今年度もビーンズふくしまの活動に皆さまのご支援ご協力、よろしくお願いいたします。



飯塚 真一

結(YU)代表

40年近く大企業で働いてましたが、昨年退職して独立、福島で個人オフィスを設定。現在、企業からの委託で、県内自治体のデジタル化推進業務を行っています。理事の話を受けたのは、企業での組織リーダー経験を生かせるかもと思ったから。ビーンズの組織活性化に貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



伊藤亜希子

精神保健福祉士

スクールソーシャルワーカー(飯館村 / 相双教育事務所)
ふくしま連携復興センター 相談対応アドバイザー

活動原点は「ホームレス」の方々が急増した頃、夜回りに参加したことです。ソーシャルワークという方法を知り、職業として早20年です。震災を機に、岩手県大槌町で災害メンタルヘルスの活動をし、7年前に福島に来ました。相手の土俵で話を聴き支援しています。微力ですが、みなさまの話を伺うことを楽しみにしております。



小林 直輝

同法人 若者支援事業部(県中・県南)事業長

「まだ子どもだから…」 「子どもが考えたことだし…」 そんな言葉を、子どもの頃から聞くことができました。今の社会は、あれからどれくらい変わっているのかな…と思うことがあります。子どもも若者も、社会をつくる対等なパートナーであり続けられるよう、精一杯努めていきますのでよろしくお願いいたします!

ご冥福をお祈りいたします

平成28年から理事を務めてくださっていた星野庸子さんが、今年2月にご逝去されました。5年間、支えていただきましたこと感謝しております。心よりご冥福をお祈りいたします。

新しい事業体制で令和3年度は活動していきます

子ども・若者が「生きづらさ」を抱えてしまう社会課題が多様化・複雑化している現状があります。

こうした状況を踏まえ、今年度は法人内の一部を再編成し、課題解決に一層邁進していきたいと考えております。

「若者が自分らしく将来を選択し生きていける社会」をめざして

「一人ひとりが安心して地域で生きていける社会」をめざして

「子どもの育ちを支えるプラットフォーム」をめざして

若者支援事業(県北)

福島県北・相双
地域若者サポートステーション事業
+
ユースプレイス
県北事業

昨年度までは、就労支援のサポートステーションと居場所支援のユースプレイスは別々の事業でした。地域若者サポートステーションは、若者が社会へ踏み出す一歩をサポートしています。また、ユースプレイスは若者が地域をフィールドとして安心して活動できる場です。

若者が自分らしく生きていくため、この二つの事業は両輪であると考えております。安心して活動できる居場所で自信を回復し、そしてありがたい姿で就労や進学など選択していく。こうした取り組みを持って、ビーンズふくしまは若者を支援してまいります。

被災親子支援事業

ふくしま母子サポートネット
(前ふくしま子ども支援センター)
+
みんなの家セカンド
(福島県内避難者・
帰還者心の復興事業)

「ふくしま子ども支援センター」は、県内外の避難者の交流会やママカフェを地域の団体と一緒に創ってきました。「みんなの家セカンド」では、地域の人たちと共に活動することを大切にしながら、避難先での日常のサポートをしてまいりました。

わたしたちは、誰一人として孤立することのない地域社会を目指すために、2事業を統合し、これまで地域の方々と築いてきた経験をもとに活動してまいります。

地域子ども子育て支援事業

みんなの家@ふくしま
(子育て支援センター)
+
放課後児童クラブ
みんなの家

これまで、地域の方々や若者たちなど、多世代と交流しながら子どもの育ちを支える子育て支援センター「みんなの家@ふくしま」を運営してまいりました。また、昨年度には、地域で子どもたちを育む「放課後児童クラブ みんなの家」を始めました。

地域の人たちの関わりを紡ぎ、子育ての孤立を防ぎたいと考えています。いろんな人たちの温かく見守る目があり、安心して子育てができる地域のプラットフォームを目指してまいります。

どうぞよろしく!
ビーンズの新しい仲間たちです!

新潟県五泉市出身です。先を考えず1日の積み重ねを大切にしていきたいと思っています。

福島県北・相双
地域若者サポートステーション
廣野政則

お散歩やヨガが好きです。育てているオクラを食べて元気に過ごしたいと思います。

福島県中・県南
地域若者サポートステーション
山下富士子

好きなお寿司のネタはホタテです。子どもの個性を大事にするビーンズでお仕事できて嬉しいです。

事務局
大橋京子

震災きっかけで福島にきました。福島市は暑くて寒いですが、フルーツがおいしくてうれしいです。

復興交流拠点
みんなの家セカンド
北村育美

テニス・読書・山・月・コーヒー・インドカレーが好きです。こどもたちの変化を見守る事も大好きです。

フリースクール
ビーンズふくしま
早坂祥子

子どもたちにとっても支えの存在である指導員を目指していきます!

放課後児童クラブ
みんなの家
二瓶まど香

コロナが明けたら旅行に行って、美味しいご飯を食べたいです。おすすめがあったら教えてください~

ビーンズ
こころの相談室
千葉桃子